戦車才三四連隊　略歴

通称号　迫第一三〇四七部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	8	15	三江省勃利において関東軍の軍隊区分により臨時第一独立戦車隊として編成	
	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	15	臨時第一独立戦車隊を改編	
			戦車、第五、第六連隊、戦車第二師団比島転用残置人員を充当し編成完結	
			爾後同地付近の警備	
昭20	5	22	四平省四平に移駐	
			この際勃利陸軍病院に入院していた患者（約五十名）は勃利に残置	
			その後二十名は原隊に復帰約三十名は勃利陸軍病院と同行動	
	5	28	四平省場木林戦車第二四連隊兵舎跡に移駐第三方面軍直轄となる	
	8	9	日「ソ」開戦に伴ない部隊は五箇梯団にて奉天に移駐（約一五名場木林に残置爾後不明）	

0054

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

自至		
8	18	奉天着　同日東陵陣地に到着
8	20	同地において武装解除
8	末	奉天省虎石台において現地応召者を解除
9	7	部隊主力約四五〇名奉天鉄路学院に移動
9	上旬	奉天第二九作業大隊に編入
9	15	奉天出発
10	15	黒河経由入「ソ」
9	3	一部は奉天第四作業大隊に編入
9	24	奉天出発
10	23	
10	30	黒河経由入「ソ」
11	5	残部は奉天第五九作業大隊に編入
11	7	奉天出発
11	22	満洲里経由入「ソ」

隊長　中佐　谷　洪馬

0055

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

戦車才三五連隊略歷

通称号　迫第一三〇四二部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	10	15	三江省勃利において戦車第一師団の人員を基幹として編成完結	
			爾後同地付近の警備	
昭20	6	1	部隊は吉林省公主嶺に移動	
	8	9	日「ソ」開戦に伴い新京防衛の命を受く	
	8	10	主力約六〇〇名新京に出動この際病弱者を残置	
	8	19	主力（除第四中隊の一部）新京出発	
	8	20	原駐地公主嶺着	
	8	22	公主嶺において武装解除	
	9	10	公主嶺第一作業大隊に編入	
	10	12	公主嶺出発	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

11	23	黒河経由入「ソ」
		新京に残留した第四中隊一部の行動
8	19	新京孟家宅において武装解除
9	1	新京第七作業大隊に編入
9	8	新京出発
9	11	黒河経由入「ソ」

隊長中佐長命稔

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立戦車才一旅団歩兵隊略歴

通称号　迫第一三〇四三部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	10	15	三江省勃利において戦車第一師団機動歩兵第一連隊並びに同師団輜重隊の残置人員約四〇〇名を以つて編成完結 爾後勃利付近の警備に当る	
昭20	5	22	部隊主力は四平付近の警備のため、四平省揚木林に移駐し第三方面軍直轄となる	
	8	9	日「ソ」開戦	
	8	10	部隊主力は奉天省奉天に移動（この際四平に岡原少尉以下四五名及び入院患者四五名を残置す）	
	8	15	奉天到着と共に第一三六師団長の指揮下に入り東陵の陣地において戦闘準	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

		備中停戦となる
8	16	奉天において在満応召者は現地召解
8	17	奉天省東陵において武装解除
9	5	主力は奉天第二九作業大隊に編入
9	15	奉天出発
10	15	黒河経由入「ソ」
9	24	主力と別行動となつた杉山准尉以下一部の者は奉天第二作業大隊に編入、
		同日奉天出発
10	下旬	黒河経由入「ソ」
		四平残留者の行動
昭20 8	20	四平において武装解除
9	2	四平第四作業大隊に編入
9	26	四平出発
10	30	黒河経由入「ソ」

隊長　大尉　原　金蔵

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立戦車第一旅団砲兵隊略歴

通称号　迫第一三〇四四部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	15	三江省勃利において戦車第一師団各隊の人員を基幹として在満応召者をもつて編成完結	
昭20	5	25	部隊は四平に移動のため勃利出発	
	6	3	四平省揚木林着	
	8		爾後同地付近の警備	
		11	主力は揚木林出発	
			残務整理のため塩川少尉以下約三十七名四平に残置	
	8	12	奉天着　東陵陣地において戦闘準備	
	8	15	同地において停戦	
	8	18	奉天省東陵において武装解除（現地応召者は解除）	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

自	9	5	同日主力は奉天省虎石台に移動
至	9	15	この際兵器返納のため滝口少尉以下二十一名を東陵に残置す
			主力は奉天第二九、第三〇作業大隊に編入
自	9	15	奉天出発
至	10	13	黒河経由入「ソ」
		15	滝口少尉以下の行動
	11	14	奉天第六〇作業大隊編入
	11	下旬	黒河経由入「ソ」
			四平残留者の行動
昭20	9	2	四平第四作業大隊に編入
	9	25	四平出発
	10	30	黒河経由入「ソ」
			隊長　少佐　山田庄太郎

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立戦車才一旅団工兵隊略歴

通称号　迫第一三〇四五部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	15	三江省勃利において戦車第二師団転用後同師団工兵隊の残置人員を基幹として現地応召者をもつて編成完結	
昭20	5	30	部隊は四平省四平に移動	
			爾後同地付近の警備	
	8	9	日「ソ」開戦	
	8	10	奉天省東陵に移動	
	8	11	爾後同地において戦闘準備	
			この際残務整理のため市川少尉以下三〇名を四平に残置す	
	8	15	東陵において停戦	
	8	18	奉天省東陵において武装解除	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭20		
8	25	同日現地応召者を召集解除
		奉天省北陵に移動のため東陵出発
		兵器返納のため武末准尉以下四五名を東陵に残置す
9	11	主力は奉天鉄路学院に集結
9	15	主力は奉天第二〇作業大隊に編入
9	15	奉天出発
10	13	黒河経由入「ソ」
		兵器返納のため東陵に残留した武末准尉以下四五名は奉天第五九作業大隊に編入黒河経由入「ソ」
		四平残留者の行動
8	22	四平省揚木林において武装解除
9	2	四平第四作業大隊に編入
9	25	四平出発
10	30	黒河経由入「ソ」
		隊長　大尉　大森寿栄

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立戦車才一旅団整備隊略歴

通称号　迫第一三〇四六部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	15	三江省勃利において戦車第二師団整備隊の転用後の残置人員を基幹として編成完結	
昭20	6	3	爾後同地付近の警備	
	8	9	部隊は四平省揚木林に移駐この際一部を四平に残置	
	8	13	日「ソ」開戦	
	8	15	奉天省東陵に移動	
	8	20	東陵において停戦	
	9	8	奉天省虎石台に移動	
			同日前後して現地応召者を召集解除	
			東北大学に移動、同地において武装解除	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭20			
9	15	奉天第三〇作業大隊に編入	
9	15	奉天出発	
10	13	黒河経由入「ソ」	
		四平残留者の行動	
8	22	四平省場木林において武装解除	
9	2	四平第四作業大隊に編入	
9	25	四平出発	
10	30	黒河経由入「ソ」	隊長　鈴木宣

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

才二二野戦高射砲隊司令部略歴

通称号　満第六五七部隊　強第一三一〇部隊

年	月	日	概要	摘要
昭20	5	1	軍令陸甲第七五号により編成下令	
	5	31	奉天省鞍山において鞍山防衛司令部を基幹として編成完結	
	6	20	鞍山より奉天に移駐、同地付近の防衛強化と隷下部隊の教育指導	
	8	9	日「ソ」開戦	
	8	15	停戦	
自	8	18	奉天において武装解除	
至	8	19	奉天鉄路学院に移動同地で第二四作業大隊に編入	
	9	10	奉天出発	
	9	14	黒河経由入「ソ」	
	10	12	司令官　少将　津田　賜	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦高射砲才二六連隊略歴

通称号　強第二六八七部隊

年	月	日	概要	摘要
昭17	4	14	軍令陸甲第三三号により編成下令	
	5	25	新京において編成完結	
			爾後新京において防空警備	
昭19	3	1	奉天省鞍山に移駐	
昭20	5	25	第一中隊は関東軍高射下士官候補者隊に所属替え	
	8	8	主力は（連隊本部、第二大隊本部、第三大隊本部、第四、第五、第六、第七、第八中隊、材料廠）鞍山出発	
	8	10	新京に転進	
	8	15	停戦	
	8	18	新京において武装解除	
	8	19	吉林省、公主嶺に移動	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭20	9 5	公主嶺第七作業大隊に編入
	9 11	公主嶺出発
	9 20	黒河経由入「ソ」
	8 10	一部（第一大隊本部、第二、第三、第九中隊）奉天に移駐
		第三中隊、第九中隊は奉天東陵
		第一大隊本部、第二中隊は奉天北陵
	8 19	奉天において武装解除
自	9 10	奉天第二六作業大隊に編入（改編し第二五、第二九作業大隊に編入）
至	9 17	
自	9 22	奉天出発
至	10 5	
	10 18	黒河経由入「ソ」
		隊長　中佐　加藤　直太郎

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭四一、二、三(陸)

野戦高射砲才八五大隊略歷

通称号　満第六〇八部隊　強第一三一〇四部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	7	10	軍令陸甲第八〇号により編成下令	
	8	5	吉林省公主嶺において編成完結	
	8	30	奉天省鞍山に移駐	
昭20			爾後鞍山において同地警備	
	7	24	成鏡北道羅津に移動	
自	8	9	対空戦闘	
至	8	10		
	8	10	厚倉洞に陣地変更	
	8	12	主力は清津に陣地変更のため厚倉洞出発	
			同日富居到着	
	8	15	富居出発羅南に向い主力は輸送橋に集結し富寧に向う	
	8	17	主力は古茂山経由茂山着	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

8	22	茂山出発白岩に向う
8	25	白岩着
8	28	列車にて茂山経由
8	30	古茂山着
9	上	自
9	22	至 主力は古茂山において第四、第五作業大隊に編入
11	25	自
4	6	至 古茂山出発
昭21		
4		自 延吉経由入「ソ」
昭21		
6		至 大隊長 少佐 井元一一
昭21		

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦高射砲才八八大隊略歴

通称号　満第八六〇部隊
強第一三一〇五部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	7	10	軍令陸甲第八〇号により編成下令	
	9	10	鞍山において高射砲一七一連隊を基幹として編成完結	
			同日より鞍山付近の警備	
昭20	8	9	日「ソ」開戦	
	8	13	奉天に移駐、興亜国民学校に陣地構築	
	8	16	奉天朝日街において第一次武装解除	
			朝鮮在籍者現地召集解除	
	8	20	奉天北方大橋に移動	
	9	12	北陵鉄路学院に移動、同地において第二次武装解除、奉天第二五作業大隊に編入	
	9	22	奉天出発	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

498の2

黒河経由入「ソ」

大隊長　少佐　松本春男

0072

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭四〇・二・二三付

野戦高射砲才九十大隊略歴

通称号　満第四三六部隊
強第一三一〇六部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	1	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	10	10	鞍山において高射砲第五五、五六、五七中隊を基幹として編成完結	
昭20	7	1	第一中隊は錦州省大凌河本部第三中隊は奉天省巨流河に移駐し同地において橋梁の警備	
	8	9	日「ソ」開戦	
	8	16	第一中隊は奉天に移動主力に合流	
	8	18	奉天に移動し同地において武装解除	
自	9	7	本部第三中隊の行動	
至	9	23	奉天第十九、第四九作業大隊に編入さる。	
自	9	24	奉天出発	
至	10	30	黒河経由入「ソ」	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

6	10	第二中隊の行動
8	15	橋頭（安奉線）に移駐し本渓湖警備隊本部の指揮下に入り停戦となる 中隊長の命により中隊解散自由行動となる 隊長　少佐　星野辰五郎

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦高射砲才九一大隊略歴

通称号　満第四二二部隊
強第一三一一四部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	5	安東省安東において野戦高射砲第二六連隊を基幹として編成完結	
			同日より本部、第一中隊は安東付近の防衛警備、第二中隊は新義州、第三中隊は安東南（20K）の地点の警備	
	12	13	安東要地第一次防空戦闘参加	
	12	21	安東要地第二次防空戦闘参加	
昭20	8	9	日「ソ」開戦	
	8	15	停戦	
自至	8	18	安東に集結	
	9	20	安東において武装解除	
	9	20	奉天北陵において第四七作業大隊に編入	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

9	23	奉天出発
10	23	黒河経由入「ソ」

大隊長　少佐　中川一良

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦高射砲第九二大隊略歴

通称号　満第四二三部隊
強第一三一六部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	5	奉天省鞍山において野戦高射砲第二六連隊を基幹として編成完結	
	12	10	奉天省湯崗子に移駐	
昭20	8	5	本部第一中隊第二中隊は奉天省立山に第三中隊は瀋陽郊外の警備	
			本部、第一中隊、第二中隊の行動	
昭20	8	15	奉天韓家堡において停戦	
	8	15	奉天長沼公園に集結	
	8	21	同地において武装解除	
	9	10	奉天東北大学において第二四作業大隊に編入	
	9	14	奉天出発	
	10	12	黒河経由入「ソ」	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭20	8	20	第三中隊の行動
	9	1	海城第六作業大隊に編入
	10	23	海城出発
	11	24	黒河経由入「ソ」

隊長　少佐　広松　~~元~~源作

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦高射砲才一〇〇大隊略歴

通称号　満第四三三部隊　強第一四〇〇八部隊

年月日	概要	摘要
昭20 5 1	軍令陸甲第第七五号により編成下令	
5 31	東安省虎頭において第四国境守備隊砲兵隊を基幹として編成完結	
6 12	錦西に移駐し同地附近の防衛と陸軍燃料廠錦西製造所を警備	
8 9	日「ソ」開戦	
8 12	奉天に移駐し市内警備	
8 15	停戦	
8 20	奉天において武装解除	
9 10	奉天東北大学において第二五、第二六作業大隊に編入	
9 22	奉天出発	
10 15	黒河経由入「ソ」	

隊長　少佐　角　利作

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦高射砲才六五中隊略歴

通称号　満第九一六部隊
強第一四〇〇九部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	奉天省蘇家屯において編成完結	
昭20	1	15	奉天渾河に移駐	
	7	26	奉天発	
	7	29	朝鮮清津に移駐し防空警備	
	8	9	日「ソ」開戦。「ソ」軍爆撃機の攻撃をうけ交戦	
	8	13	清津港埠頭に上陸を企図せる「ソ」軍船艦と交戦しつゝ油坂（羅南清津の中間点）に後退	
	8	15	「ソ」軍揚陸中の駆逐艦と交戦	
	8	16	漁遊洞山地に後退	
	8	19	停戦命令を聞き漁遊洞において武装解除	
	8	21	羅南練兵場に集結し羅南師管区参謀長白川豊大佐の指揮下に入り古茂山に	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

			自
			至
		昭21	昭20
8	9	3	12
27	9 上旬	6	26
古茂山着	古茂山において第四作業大隊に編入	古茂山に帰還	第六作業大隊は羅津に移動同地において船積作業
	同 右 第六作業大隊に編入		
向う			

10	4	2	5
26	6	14	8
第四作業大隊は清津に移動、同地において船積作業	間島省琿春経由入「ソ」	古茂山に帰還	咸鏡北道洪義経由入「ソ」

中隊長　大尉　中川澄夫（20・6・25まで）
中尉　坂井久衛

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦照空才一大隊略歴

通称号　強第一二二四部隊

年	月	日	概要	摘要
昭16	7	16	特臨編一六令付第六八号により編成下令	
	8	2	吉林省公主嶺において編成完結	
	8	9	公主嶺出発	
	8	10	新京着	
	8	31	新京出発	
昭17	9	1	哈爾浜着	
	11	20	移駐のため哈爾浜出発	
	11	22	奉天省鞍山着、爾後同地付近の警備	
自昭19	7	29	鞍山要地防空戦闘参加	
至昭19	8	27	同地防空戦闘参加	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

							昭20	至自	至自	
	10	9	9	8	8	7	5	9 9	9 9	
	17	22	7	18	10	10	1	2928	9 8	
大隊長　大尉　富沢利雄	黒河経由入「ソ」	奉天出発	奉天（鉄路学院）において奉天第二五作業大隊編入	奉天において武装解除	奉天移駐	軍令陸甲第一〇六号により改編	軍令陸甲第七五号により改編	同地防空戦闘参加	同地防空戦闘参加	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦照空才六大隊略歴

通称号　満第一三五部隊　満第一三六部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	11	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	15	奉天省鞍山において第一国境守備隊、野戦照空第一大隊を基幹として編成完結	
昭20	7	27	朝鮮羅津へ移駐 爾後同地付近の警備	
	8	3	羅津港にて羅津要塞司令官の指揮下にあつて対空戦闘準備	
	8	9	「ソ」軍と対空戦開始	
	8	11	羅津要塞司令部の清津転進と共に清津に転進	
	8	15	羅南集結、同地において自動車輸送隊を編成し兵器、弾薬等の輸送に任ず 同日清津着	
	8	21	輸送作業を中止し吉州に転進、同地において武装解除	

0084

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

505の2

9	20	興成に移動、成興中学校に収容
10	1	興南に移動、同地において第二三、作業大隊に編入
昭21 1	3	興南出発
21 1	3	興南経由入「ソ」

大隊長　大尉　田村義雄

0085

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦照空才七大隊略歴

通称号　強第一四〇三八部隊

年月日	概要	摘要
昭20 5 1	軍令陸甲第七五号により編成下令	
5 30	奉天省撫順において独立野戦照空第一、二中隊を基幹として編成完結	
8 17	撫順地区において停戦	
8 20	撫順において武装解除	
9 14	奉天日語学院に移動	
9 16	奉天第四〇作業大隊に編入	
9 17	奉天出発	
自 10 14	黒河経由入「ソ」	
至 10 17	大隊長　少佐　中村豊悟	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立野戦照空才一四中隊略歷

通称号　満第六五部隊　独第一四〇三九部隊

年	月	日	概要	摘要
昭20	5	1	軍令陸甲第七五号により編成下令	
			奉天省撫順において独立野戦照空第三中隊の改編により編成完結	
	7	28	清津に移駐	
	8	9	戦闘開始の命をうけ戦闘実施	
	8	13	羅南師管区司令官の命により陣地を撤去	
	8	15	鏡城を経て吉州に移動	
	8	22	吉州到着	
	8	23	吉州において武装解除	
	9	20	吉州より羅南、古茂山を経て成興に到着	
	9	25	興南にて主力は第二三作業大隊に編入	
昭21	1	2	主力は興南港出発入「ソ」	

中隊長　中尉　福田祐直

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才六八中隊略歴

通称号　満第四八四部隊
強第一三一一八部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	7	10	軍令陸甲第八〇号により編成下令	
	8	5	奉天省鞍山において編成完結	
昭20	3	20	第三方面軍隷下防空部隊編入予定の応召者が編入され防空部隊より教官、助教の派遣をうけたので中隊所属者をあげて助教助手として教練班を編成し応召者の教育に任じた	
自	6	1	教育終了応召者を逐次他部隊に転属させ教官、助教を原隊に復帰させた。	
至	7	10		
自	8	4	大連に移駐、大連満洲化学工業会社の警備	
至	8	11		
	8	15	停戦	
	8	20	大連周水子において武装解除	
	8	23	金州南門に集結	
	9	8	金州大房身に移動	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

自昭21	9	18	金州陸軍病院建物内に収容
昭21	10	6	大連港に移動、船積作業に従事
昭21	12	4	旅順師範学校に移動
昭21	2	20	大連（台山屯収容所）移動
昭21	6	10	大連三十里堡飛行場作業
昭21	11	22	大連長嶺子収容所において船積作業
至昭22	3	26	大連港より帰還
至昭22	1	23	

中隊長　中尉　永田　渉

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才六九中隊略歴

通称号　満第四八六部隊　満第一三一九部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	7	10	軍令空甲第八〇号により編成下令	
	8	5	奉天省遼陽において編成完結	
	8	13	遼陽出発、奉天撫順着、同日より同地付近の防空警備	
昭20	8	21	移駐のため撫順出発、同日鞍山着、同日より同地付近の防空警備	
	1	5	朝鮮平安北道水豊に移駐、同地付近の警備	
	8	26	水豊において武装解除	
	9	1	平壌三合里に集結	
			主力は三合里第一六作業大隊編入	
昭21	1	3	三合里出発	
	1	8	興南発「ポセット」港経由入「ソ」	
			中隊長　大尉　水畑笹男	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才七〇中隊略歴

通称号　満第一五一二三〇部隊　強第一三一三〇部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	7	10	軍令陸甲第八〇号により編成下令	
	8	5	奉天省遼陽において第四国境守備隊よりの要員を基幹として編成完結、同日鞍山に移動	
昭20	1	4	まで同地において防空戦闘に参加	
	1	6	吉林省豊満ダム警備のため鞍山出発豊満に移駐し防空警備	
	8	12	新京防空のため豊満より新京に移動し防空警備	
	8	15	停戦	
	8	18	新京において武装解除	
	9	1	新京第七作業大隊に編入	
	9	8	新京出発	
	9	11	黒河経由入「ソ」	

中隊長　中尉　奥村正三郎

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才七一中隊略歴

通称号　満第五二三部隊
　　強第一三一二一部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	5	奉天省本溪湖において旅順重砲兵連隊よりの要員を基幹として編成完結	
昭20	3	20	本溪湖出発	
	4	1	鞍山へ移駐	
	4	25	安東へ移駐	
	8	15	停戦	
	9	3	安東中学校において武装解除	
	9	19	奉天へ移動、北陵兵舎に収容さる。	
	9	20	奉天第四七作業大隊に編入	
	9	23	奉天出発	
	10	23	黒河経由入「ソ」	

中隊長　中尉　宮腰圭三

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才七二中隊略歴

通称号　満第五三九部隊
独第一三一二二部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	5	奉天省鞍山において編成完結	
昭20	3	10	撫順に移駐	
	4	28	安東に移駐、停戦まで同地に駐屯し新義州鉄橋の警備	
	8	28	安東において武装解除	
	9	24	奉天に移動	
自	9	9	奉天　第五四、第二、第二四作業大隊に編入	
至	10	10		
自	9	9	奉天出発	
至	24	14		
自	10	12	黒河経由入「ソ」	
至	30			

中隊長　中尉　平野貞治

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才七三中隊略歷

通称号　滿第一三五七一二三部隊

年	月	日	既要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	10	24	関防参編第四三五号により編成改正	
	11	5	奉天において臨時機関砲第六中隊を基幹として編成完結	
昭20	4	25	爾後奉天付近の防空警備 渾河に移動、同地鉄橋警備	
	8	9	日「ソ」開戦	
	8	15	停戦	
	8	20	奉天において武装解除	
	9	10	奉天（東北大学）において第二四作業大隊に編入	
	9	14	奉天出発	
	10	12	黒河経由入「ソ」	

中隊長　中尉　川島伝治

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲第七四中隊略歴

通称号　満第二四二部隊
　　独第一三一二四部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	5	奉天省鞍山において臨時機関砲第七中隊を基幹として編成完結	
			同日より同地付近の警備	
昭20	4	25	奉山線巨流橋（新民）警備のため巨流河に移動	
	8	9	日「ソ」開戦	
	8	15	巨流河橋梁警備中停戦となる。	
	8	18	新民において武装解除	
	8	19	新民仮捕虜収容所に収容	
	9	23	奉天北陵に集結	
	9	26	主力は奉天第五三、第五四作業大隊に編入	
	9	28	奉天出発	
	10	29	黒河経由入「ソ」	
			隊長　中尉　甘粕豊太郎	

0095

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才七五中隊略歴

通称号　満第七四五部隊　独第一三一二五部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	5	奉天省鞍山において臨時機関砲第七中隊を基幹として編成完結	
			豊満対空警備のため移動	
昭20	8	10	新京地区防空のため移駐	
	8	18	新京において武装解除	
	9	3	新京第七作業大隊に編入	
	9	8	新京発	
	9	18	黒河経由入「ソ」	

中隊長　中尉　大平博愛

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才七六中隊略歴

通称号　満第七九四部隊
　　強第一三一二六部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	5	奉天省鞍山において編成完結	
			鞍山出発、安東省拉古哨に水豊ダム警備のため移駐	
昭20	8	9	日「ソ」開戦	
	8	15	水豊ダム警備中停戦	
	9	22	安東省寛甸県拉古哨兵舎において武装解除	
	9	23	安東省浜江舎に集結後同地出発	
	9	26	奉天着	
	9	26	奉天北陵に集結	
	9	30	奉天第五四作業大隊に編入（改編し第九、第五三作業隊に編入）	
	9	30	奉天出発	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

516の2

自	黒河経由入「ソ」
至	隊長 中尉 瀬藤司郎
1210	
229	

0098

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才七七中隊略歴

通称号　満第八三九部隊
独第一三一二七部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	10	11	軍令陸甲第一三五号により編成下令	
	11	5	奉天省宮原（本溪湖）において編成完結	
			爾後同地において対空警備	
自昭20 至	8	4	奉天省橋頭付近の警備	
自	8	20	奉天省橋頭において武装解除し奉天北陵収容所に集結	
至	9	19	奉天第二、第二四作業大隊に編入	
自	9	24	奉天出発	
至	10	30	黒河経由入「ソー」	

中隊長　中尉　邑上義三郎

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲才八五中隊略歴

通称号　満第三〇四七部隊　独第一五六五五部隊

年	月	日	概要	摘要
昭19	11	1	軍令陸甲第一八号により編成下令	
昭20	2	1	錦州省綏中において独立歩兵第七七、第七八大隊を基幹として編成完結	
			爾後綏中付近の防空警備	
	8	9	日「ソ」開戦	
	8	12	綏中出発	
	8	14	奉天着	
	8	15	停戦	
	8	18	奉天において武装解除	
	9	10	奉天第二四作業大隊に編入	
	9	14	奉天出発	
	10	12	黒河経由入「ソ」	
			中隊長　中尉　藤岡城	

0100

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

関東州警備隊司令部略歴

通称号　満第七〇一部隊　強第一三一三部隊

年	月	日	概要	摘要
明38	1		旅順要塞司令部として旅順に位置	
			爾後同地要塞の警備	
昭16	7	16	大連港の重要性が逐次増加せしをもつて大連港に移駐	
昭19	7	12	軍令陸甲第八二号により編制改正され関東州警備隊司令部と改称し旅順地区警備	
	7	1	女子制空要員約一四〇名採用	
	8	10	警備召集実施	
昭20	8	15	停戦　現地召集者、女子制空要員全員を召集解除	
	8	21	周水子において武装解除	
			（造船関係者のみ残置）	
	9	8	大房身に集結	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

自昭22.20 至	3 9	2121	第七作業大隊に編入、満洲重機苦力宿舎に移動
	3	.22	大連関東倉庫集結のため移動
	4		どろまでに大連港より帰還
			司令官　中将　柳田元三

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

特設警備才六五一大隊略歴

通称号　強第三一六一部隊

年	月	日	概略	摘要
昭19	1	4	編成下令	
	2	13	大連において編成完結（常置員将校一名下士官四名）	
			爾後同地付近の在郷軍人を短期間数度にわたり召集し教育を実施	
昭20	8	9	日「ソ」開戦と共に大連周辺の在郷軍人に警備召集を実施（当時召集をうけた人員は約五五〇名）旅順、大連地区の警備に任じた	
	8	15	停戦	
	8	18	部隊解散	

隊長　大佐　瀬戸正秀

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp